

分 子 発生件数

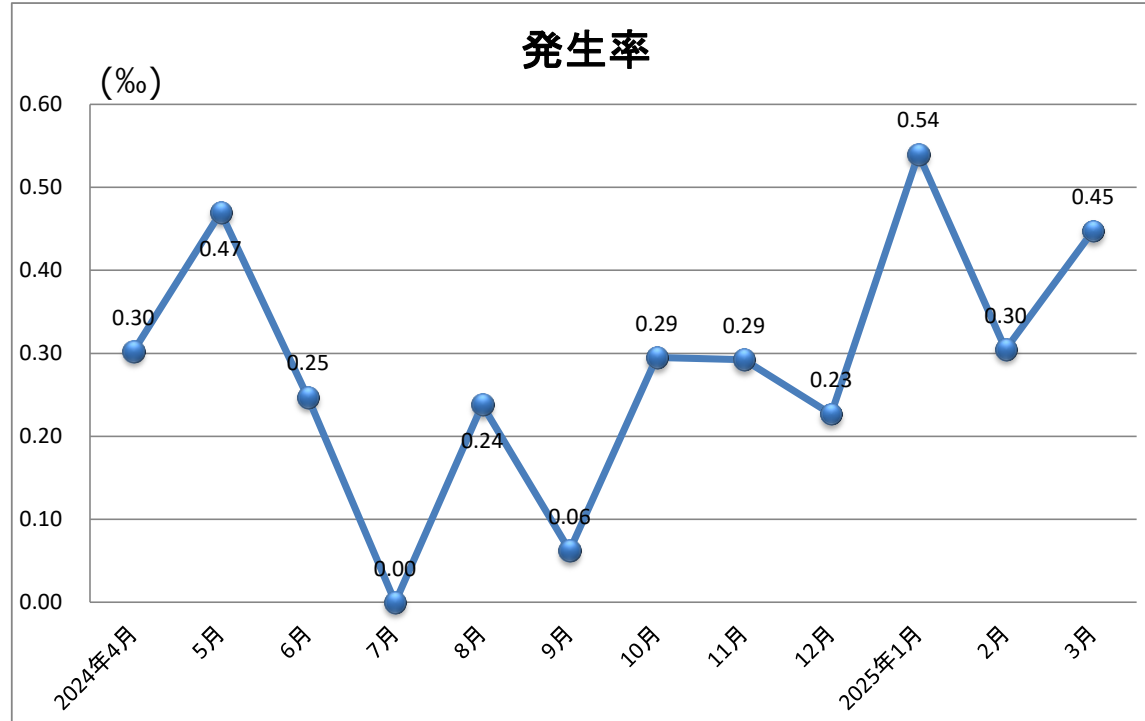
分 母 計測期間における、延入院患者数

※分母設定は「高齢者（75歳以上）の退院患者数」としている病院もあります。（国立病院機構臨床評価指標）

年月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	年間
分子	5	8	4	0	4	1	5	5	4	9	5	8	58
分母	16,535	17,023	16,185	17,262	16,798	16,063	16,956	17,095	17,638	16,669	16,407	17,874	202,505
発生率(‰)	0.30	0.47	0.25	0.00	0.24	0.06	0.29	0.29	0.23	0.54	0.30	0.45	0.29

・計算式 パーミル(‰)

・入院患者1000人あたり何人 Ⅱ 度以上の新規褥瘡が発生しているかを表している 分子／分母×1000



<解説>

褥瘡の発生は、患者さんの生活の質(QOL)を低下させる要因となり、また褥瘡部位から感染症を発生した場合、他の疾患に対する治療に影響を与えるだけでなく、敗血症から死に至ることもあります。患者さんの状態によっては褥瘡の発生予防が困難な場合もありますが、褥瘡対策に関する診療計画に基づいて、適切な褥瘡対策を行っていくことが求められます。